

令和5年度 サイエンスアカデミー中学3年生コース開催

- ◇期 日 令和5年5月27日(土)10:00~12:00
- ◇場 所 本校人文社会教室
- ◇参加者 県内の中学3年生17名、SS数学部員5名
SS数学部顧問 國松先生



サイエンスアカデミーは、毎年県内の小中学生を対象に、数学、物理、化学、生物分野の発展的な学習を通して、論理的思考力や様々な分野に対する関心を高めるために開催されるものです。本校のSS(Super Science)部員は、ティーチングアシスタントとして、小中学生の補助や、問題の解説などを行っています。

今年度、中学校3年生対象の講座は4回開催する予定であり、1回目の今回は数学で、SS数学部の1年生2名、2年生3名の計5名の部員がティーチングアシスタントとして活動を補助しました。

テーマは「暗号理論」で、扱った問題は計算力を試すものではなく、総合的な思考力や、発想力が必要な問題でした。中学生たちは黙々と、また時にはコミュニケーションをとりながら、問題を解いていき、ティーチングアシスタントの私たちが途中で手がかりを与えたり、最後に解説を行ったりしました。

参加した中学生は皆レベルが高く、どんどん問題を解いていくので、とても感心しました。その中学生に解説するにあたって、私たちは事前に説明の練習を行ってはいましたが、実際に中学生の前に立ってみると、緊張が勝って解説するのに戸惑ってしまうことがありました。しかし、周りの援助もあり、無事、やり遂げることができました。

サイエンスアカデミーを終えて、中学生と私たちの相互に大きな糧となったように思います。中学生からは、アカデミー終了後「数学への関心がより高まった。」「できなかった問題を家に帰って解いてみたい。」などの感想がありました。私たちも今回の問題を楽しく解けましたし、解説やアシストを通して、説明の難しさを感じることができ、数学への理解がより深まりました。

